

テーマ「NPO と評価」

「自分がいいと思ってやっていることを他人から「評価」されるなど耐えられない」

1 評価とは何か

evaluation…客観的数値で表す物差しによる測定であり、『善し悪し』の決定ではなく『善し悪し』を判断する材料の提供

+α (アルファ) = 「見える」存在に～社会経済システムへの内部化

2 評価の区分

- ・ 内部評価／外部評価
- ・ 定量的評価／定性的評価

評価基準：主観的な大切さとか望ましさ（選好）についての考え方… +α

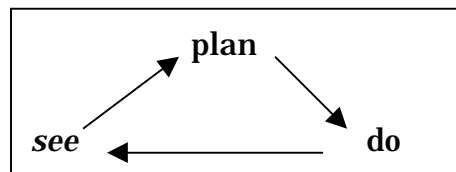
(アルファ)

(参考) トラベルコスト法=どれだけのコストをかけて来る価値のある施設なのか

- ・ 組織評価／事業評価（パートナーシップ評価）

3 評価の必要性

- ・ マネジメントサイクル=よりよい組織運営・事業運営のために



- ・ アカウンタビリティ=説明責任

<公共経営システム>という考え方 cf. NPO は市民ではない

図 1-1-1 NPO の役割の概念図…説明責任が不明確

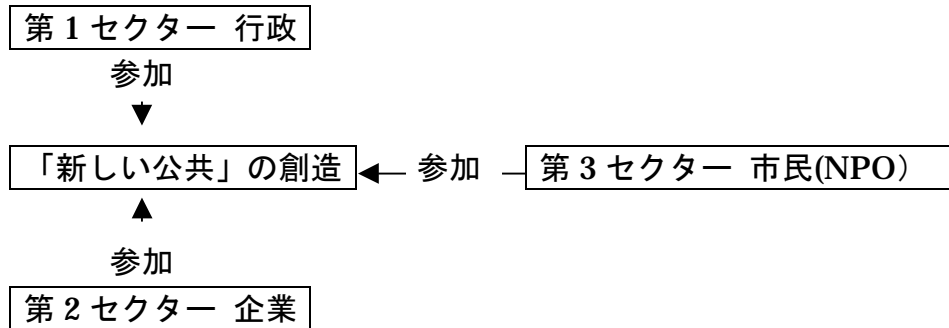
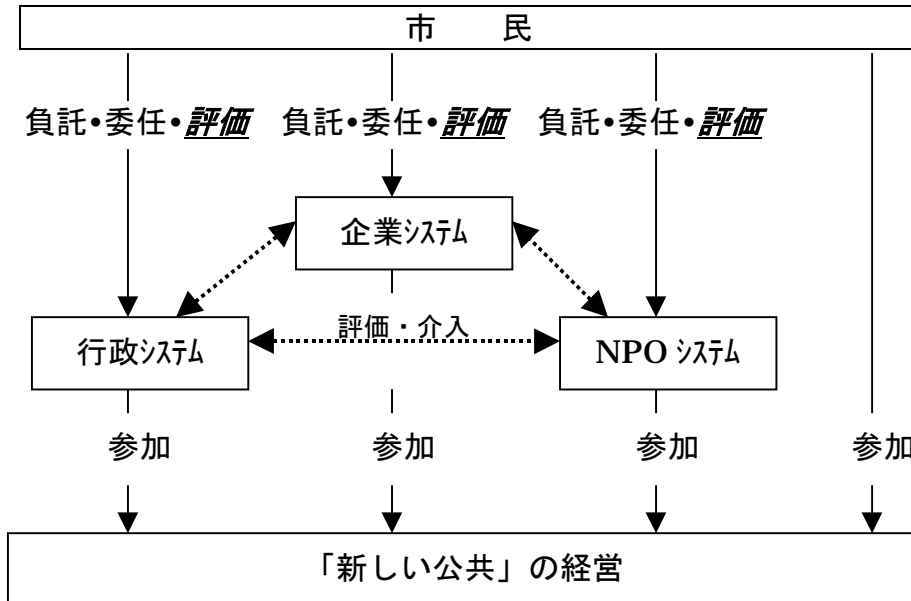


図 1-1-2 公共経営システム…説明責任を明確化



(参考) プリンシパル・エージェント理論から敷衍される公共エージェントという考え方

4 評価の可能性

・ NPO の多様性、多義性

↓

さまざまな模索

(1) (特定非営利活動法人) コミュニティシンクタンク「評価みえ」

(2) (特定非営利活動法人) パートナーシップ・サポートセンター
「パートナーシップ評価」

1 目的達成度	例 (×3=)	小計(点)
①協働で何が実現できたか(実現の度合い)		5 4 3 2 1
②それぞれの組織のミッションに合致しているか(合致度)		5 4 3 2 1
③外部にどんな影響を与えたか、またその評価は(影響度)		5 4 3 2 1
2 満足度	例 (×1=)	
①それぞれが足りないものを埋めることができたか		5 4 3 2 1
②それぞれが前進・成長したか(成長の度合い)		5 4 3 2 1
③協働のプロセスを楽しめたか(愉快度)		5 4 3 2 1
3 役割分担の明確性	例 (×2=)	
①どんな役割分担をしたのか、それは十分だったか(分担感)		5 4 3 2 1
②互いをカバーできたか(助け合い度)		5 4 3 2 1
4 発展性	例 (×2=)	
①新たな発展の可能性を見つけることができたか		5 4 3 2 1
②事業を継続できるか、次の事業を計画できるか		5 4 3 2 1
総合得点 上記()内の倍率は各自で決定して下さい		

I NPO 評価コミュニティの可能性

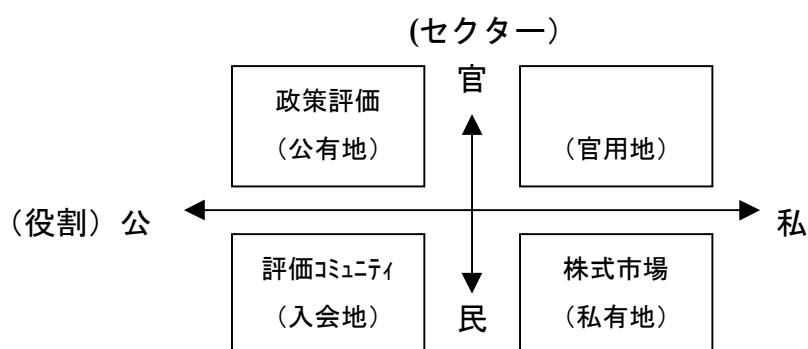
・「評価のネットワーク志向性」

＝単独のあるいは固定した「権威」が一方向から評価を行うのではなく、ネットワークという多様で動的な関係性による評価

・「評判」システム

＝「評判」が自生的に流通し、あるいは「格付け」により作られ、その評判が機能することで、それぞれのオープンな共同組織への参加者の増減が図られ「自然淘汰」による公益をサポートする組織の選出

<官民公私の4象限と評価の場>



・評価コミュニティの要素

I インターネットの活用

多様かつ相当多量な参加者を可能とし、データベースへの接近、他の知的リソースへの連携が容易な利点

I 立会者

(1) 評価情報提供者

中立的な、しかし社会的責任の判断に必要な情報を提供する。

つまり評価の素材を提供するにとどまり、判断を評価参加者に委せる

…リサーチ型 NPO

(2) 評価管理・促進・編集者

専門家が必要なときに必要な限度で介入する ("on tap")

評価の場をファシリテートさせる力を持つ

…プラットフォーム型 NPO

(3) 評価参加者

それぞれの得意を活かして参加し、多様な役割を担う

それぞれに必要な「評価（情報）」を得て帰っていく

…市民～会員としての資金提供者・労力提供者に限定されず、利害関係者としての存在（サービスの顧客・納税者）までも評価参加者に含む

…他のNPOによる相互評価参加